

12月定例市議会 市長所信



12月議会が12月2日から21日までの20日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題について、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容については、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

阿南市版コロナ関連予算第5弾、「感染症にも強いしなやかな地域をつくる未来構想予算」として、「新しい生活様式」「感染予防対策」に対応した施策を実施してまいります。

子育て応援給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により多大な影響を受けている子育て世帯の支援と、地域経済の活性化を支援するため実施している「子育て応援地域商品券給付事業」に続いて、令和3年1月1日から令和3年4月1日までに出生した新生児を対象に、新生児の父または母の「新しい生活様式」の下での子育てを応援するため、本市独自に、新生児一人につき5万円を給付します。この事業は、企業や個人の皆さまからのご寄附による「阿南市新型コロナウイルス感染症対策応援基金」を有効に活用させていただきます。

阿南市総合計画「基本計画」の策定

令和2年9月定例会で、ご承認いただいた基本構想に基づき、将来都市像を実現するための必要な施策を総合かつ体系的に示す「基本計画」の策定に取り組んでいます。基本計画の構成および内容は、基本構想で定めた6つの基本政策に関連付けたまちづくり分野ごとに「ビジョン」や、今後取り組むべき「基本的な方向性」を示し、その実現に向けた「基本目標」や「主要な取組」を掲げているほか、施策実行の成果を具体的に検証するための新たな取組として、「成果指標」や「目標値」を設定しています。

また、平成27年9月の国連サミットにおいて採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、本市も国際社会の一員として「持続可能な社会」の実現に貢献していくため、基本計画にSDGsが掲げる17のゴールを関連付けることにより、総合計画とSDGsの一体的な推進を図ります。

令和2年11月19日に開催された「第3回阿南市総合計画審議会」で、基本計画（検討案）をお諮りし、委員の皆さまから、多くの具体的な示唆に富んだご意見、ご提言を

市民生活の維持のため 感染予防対策

社会的に欠かすことができない消防およびごみの収集業務の新型コロナウイルス感染症予防対策として、消防業務については、全身用感染防止衣、空気呼吸器面体等の購入により資器材を増強し、また、ごみの収集業務については、古紙収集時の車内の3密の緩和・分散勤務を実施するために収集車1台を増台し、業務の安全を確保するとともに事業の継続を図ってまいります。

3密対策を施したより安全かつ快適な空間の創造

市役所のスペースを有効活用した、コロナ禍における「新たなスタイルの図書館窓口」を創設します。新型コロナウイルスの感染拡大により、人が集まること自体が感染リスクとなる中で、図書館運営も、3密を避け、市民の皆さまに安心

頂いており、今後も、現在実施していますパブリックコメントの手続きや阿南市総合計画審議会、さらには、出前市長などで頂いたご意見等を踏まえ、基本構想に沿った実効性のある計画づくりに努めてまいります。

阿南版事業仕分けの実施

令和2年11月8日、阿南ひまわり会館で、市の事業について市民目線で評価する「阿南版事業仕分け」を実施し、市が行う5つの事業に対して、その必要性や実施方法について、市民判定人の皆さまに評価・判定を頂きました。

その結果は、市ホームページで公表しておりますが、5つの事業のうち「不要・凍結」が1件、「国・県・広域で実施」が1件、「要改善」が3件というご評価を頂きました。

市民判定人の皆さまには、長時間にわたり、熱心に議論に耳を傾けられ、事業の在り方を自分事として一緒に考えて考え、ご評価・ご意見を頂いたことに対して、あらためてお礼を申し上げますとともに、判定結果を真摯に受け止め、今後の事業の見直し等に生かしてまいります。

一方、事業仕分け終了後、市民判定人の皆さまを対象に行ったアン

してご利用いただける「新しいスタイルでの図書館サービス」が求められています。

しかしながら、現在の阿南図書館は、耐震基準を満たしていない上に、スペース的にも新型コロナウイルス対策としての3密を回避することが難しい現状にあり、市民の皆さまに、安全で安心な図書館サービスを提供する上で、多くの課題を抱えています。

こうしたことから、現在の阿南図書館は、書庫としての機能を残し、資料の整理と保存に当たることとし、新たに、市役所2階市民交流ロビーを活用し、「常設の図書館カウンター」を開設します。

この図書館カウンターは、インターネット等で予約した本の受取、市内図書館で借りた本の返却、本の予約やリクエストの受付、そして調査研究や読書に関する相談など、図書館窓口業務全般を行います。利用者が予約すると、貸し出しされていけない本であれば、早ければ翌

ケート調査で、事業仕分けに参加しての「市政運営への関心の高まり」について伺ったところ、29人中28人の方が「高まった」もしくは「少し高まった」とのご回答を頂きました。また、傍聴人の皆さまにも同様の質問をさせていただいたところ、32人中25人の方が「高まった」もしくは「少し高まった」とのご回答を頂き、阿南版事業仕分けが主眼とする「市民の皆さまの市政運営への関心を高めていただく」ことについては、一定の成果が得られたものと考えています。

今後は、事業仕分けの成果や課題を検証し、「成長する市民自治システム」として確立してまいります。なお、事業仕分け当日の様子は、1月中旬にYouTubeで配信するほか、地元のケーブルテレビ番組でも放送される予定ですので、ぜひご覧いただけますようご案内申し上げます。

公共施設等総合管理計画に係る個別施設計画

本市では、公共施設の老朽化が進む中、将来を見据えて施設の統廃合や長寿命化等を計画的に行い、施設の修繕・更新費用等の縮減を図るため、平成29年3月に阿南市

日図書館カウンターでの貸出が可能となり、また、新聞・雑誌コーナーを設け、閲覧席も用意します。

このように、市役所内に図書館カウンターを設けることは、コロナ禍でも人の密を避け、安心して図書館の利用ができることにつながり、より多くの市民の「知的活動」や「情報アクセス」をサポートする窓口としての役割が期待されます。

次に、安全な選挙執行体制を構築するため、限られた時間内に多くの有権者が利用する選挙の投票所における3密回避として、投票用紙自動交付機を増設し、投票事務の効率化を図るとともに投票用紙を介しての接触を防ぎます。また、投票事務関係者が使用するフェイスシールド等を整備してまいります。全国各地での第3波ともいわれる感染拡大の中、本市でも未だ予断を許さぬ状況にあることから、ご説明しました施策については早急に取り掛かり、今後の感染拡大防止に努めてまいります。

公共施設等総合管理計画を策定し、建物系公共施設の延床面積を40年間で15パーセント以上縮減することを数値目標として掲げております。

この度策定する個別施設計画は、総合管理計画の基本的な方針を踏まえ、その実効性を確保するものとして、施設ごとに管理に関する方針や実施時期などを定め、長期的な視点に立って段階的、計画的に公共施設をマネジメントするものです。

公共施設の適正な維持管理は、「持続可能なまちづくり」の一環としての40年という長期にわたる計画であり、総合管理計画ならびにこれに基づく個別施設計画とともに策定後も住民の皆さまのご意見や社会情勢の変化を踏まえ、不断の見直しを行い、人口減少社会にふさわしい公共施設のあるべき姿をめざしてまいります。

今後の予定は、パブリックコメントを実施し、その結果を踏まえた個別施設計画を3月末までに公表することとしています。